

# 全自動錠剤分包機

## 仕様書

山形県立こころの医療センター

## 1 調達物品名及び数量

品名 全自動錠剤分包機 一式

## 2 調達物品の構成

- 2-1 全自動錠剤分包機 1台  
株式会社トーショー製 Xana-2040UF8
- 2-2 関連装置及び付属品 一式

## 3 調達物品の一般的条件

- 3-1 入札機器は、入札時点で製品化されていること。
- 3-2 入札機器のうち医療用具に関しては、入札時点で関係法令に定められている製造承認を得ていること。
- 3-3 納入する機器は、すべて未使用のものであり、設置までの間に装置の仕様変更等があった場合には、最新の仕様で引き渡すこと。

## 4 調達物品の特質

- 4-1 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求条件（以下「技術的要件」という。）は別紙に示すとおりである。
- 4-2 技術的要件は、必要最小限の要件であり、これを満たさない場合には、落札決定の対象から除外する。
- 4-3 本件調達物品の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判断は、製作仕様書その他入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

## 5 搬入・設置場所

### 5-1 設置場所

- (1) 本件調達物品は、山形県立こころの医療センター診療部薬剤科に設置する。

### 5-2 搬入

- (1) 機器搬入は、協議の上、発注者が指定した日、並びに方法により行うこと。
- (2) 機器の搬入、据付、調整に際しては、これに必要な養生を行い、建物等を破損した場合には直ちに補修すること。

### 5-3 据付

- (1) 本件調達物品が有効に稼働するために必要な一切の作業（据付、配線、配管、その他施工条件として示す工事を含む。）について、納入者の負担により行うこと。
- (2) 十分な耐震対策を講じること。
- (3) 既存の全自動錠剤分包機については、下取りすること
- (4) 納品・据付作業については、発注側と打ち合わせの上行うこととし、契約後速やかに発注側と協議し、詳細を決定すること。

## 6 機器据付後の調整、稼働準備

- 6-1 本件調達物品が有効に稼働するために必要な調整について、納入者の負担により責任を持って行うこと。
- 6-2 本件調達物品の使用に関し、関係法令上の許可を得る必要がある場合、そのために必要な資料の作成及び申請に対する協力をを行うこと。
- 6-3 本件調達物品の使用する者に対し、運用及び保守に必要な知識の説明指導を図ること。
- 6-4 日本語操作マニュアルを2部以上備えること。
- 6-5 検収に必要な検査領収書を用意すること。
- 6-6 必要に応じて架台を設置すること。

## 7 保守管理体制

- 7-1 検収後1年間は無償保証に応じること。  
また、この間、本装置が正常に稼働するように定期的な点検を行うこと。
- 7-2 24時間連絡が取れる体制を備え、故障時には連絡後4時間以内に適切な対応が取れること。
- 7-3 本件調達物品に必要な消耗品及び交換部品についての安定供給が確保されていること。
- 7-4 本件調達物品を使用している限り、必要な消耗品及び故障時の対応について責任を持つこと。
- 7-5 電子カルテ、医事会計システム、その他ネットワーク接続に必要な対応を行うこと。

## 8 その他施工条件

- 8-1 本件調達物品が必要とする電源容量が、既存の電源容量を超える場合には、必要とする専用電源回路を設けること。

(別紙) 技術的要件

1 規格、構成内訳及び仕様内容

項目 (項目内訳、付属品等)	調達物品にかかる仕様	数量
本体 1. 最大分包速度 2. 錠剤棚         3. 錠剤カセット 4. 錠剤コンベア装置   5. 分包機部	<p>54包／分以上であること。</p> <p>錠剤カセットが、204個以上搭載でき、配置変更ができること。 帯電防止性、防湿性等に優れていること。 スライドキャネット式であり、一度に34個以上の錠剤カセットの残量が確認できること。 カセット収納部は全開にすることができ、一括して充填作業が行えること。 本体へのカセット装着は、本体凸部へカセット凹部をかぶせるだけの簡単装着であること。 全棚が錠剤カセットを自動で認識することができ、どこにどのカセットを配置しても錠剤カセットに取り付けられているタグと分包機内の棚に設置されているタグ識別装置にて薬品の照合ができること。 錠剤や半錠などの薬品形状にあわせてリアルタイムに可変対応できる特殊カセットを8個以上搭載していることにより、手撒きコンベアを利用することなく、分包機内に収納していない錠剤(後発薬品や頻出薬品など)を高速に払い出し分包できること。 機械部品・電子部品が分離でき、清掃できること。 カセット種類は1種であること。 錠剤コンベアマスユニットが脱着できること。 錠剤コンベアは、どのマスへ薬品を挿入するのか一目で確認できるLED点灯機能があること。また複数薬品の組み合わせでも薬品ごとにLEDが点灯し調剤を促す機能であること。 薬包印字方式は、熱転写方式であること。 薬包に患者名、ID番号、薬品名、用法、1回量、単位、病棟、病室の情報が印字できること。 処方区分、病棟ごとに自動で印字内容を変更できること。 薬包の印字レイアウトを変更できること。 薬包への印字について、WindowsPCに標準搭載のフォントは全て印字でき、外字や記号等もPC上で表示された通りに印字できること。また、写真、イラスト、ロゴ、バーコード、QRコード等も印字できること。</p>	1台

<p>6. 操作パネル</p> <p>7. 分包機能</p> <p>8. 本体寸法</p> <p>9. 本体重量</p> <p>10. 電源</p> <p>11. システム連動</p>	<p>二ツ折り分包紙が使用できること。</p> <p>マス構成は、縦方向に6マス、横方向に 11 マス以上、計 66 マスであること。</p> <p>15 インチの大型タッチパネルを搭載し、日本語表示対応であること。</p> <p>処方解析監査装置から分割生成処理・包装形態指示を制御装置が受け取り、順次一包化分包ができること。</p> <p>分包中に実装されている錠剤が不足した場合、分包機本体の操作パネル又は制御用パソコン画面上に、不足した薬品名称と棚番号を表示する機能があること。</p> <p>緊急の割り込み指定ができること。</p> <p>分包した錠剤内容が確認できる監査包が出力できること。</p> <p>分包紙のカットが自由に設定できること。</p> <p>別包包装ができること。</p> <p>非実装薬剤の一包化が容易にでき、非実装薬剤のリストがタッチパネルに表示できること。</p> <p>分包した薬剤内容の確認が容易にできること。</p> <p>分包紙へのシール加工は、鮮明な開封用切れ込みが入る機能があること。</p> <p>1160(W)×1100(D)×2000(H)mm 以内であること。</p> <p>700kg 以下であること。</p> <p>AC100V であること。</p> <p>既存の調剤支援システム及びサーバー機器に接続し、連動して稼動することができること。</p> <p>分包機本体の制御用パソコンを除く、システム連動用サーバー機器及び連動用データベースが不要であり、直接連動することができること。</p> <p>○調剤支援システム：株式会社トーショー製 処方入力・監査システム Prepare Inspect</p>	
<p>制御用パソコン</p>	<p>本体に含まれるシステム制御およびデータ処理用ソフトウェアの動作環境を満たし、かつ全機能が正常に動作する仕様であること。</p> <p>OS: Microsoft Windows10 Professional 日本語版 相当以上</p> <p>CPU: Intel Core i3-10105 (3.70GHz) 以上</p> <p>メインメモリ: 4GB以上</p> <p>内蔵ハードディスク: 500GB以上</p> <p>DVD-ROMドライブ内蔵</p> <p>通信インターフェース: 1000BASE-T 以上</p>	<p>1台</p>

その他	<p>通信プロトコル:TCP/IP</p> <p>液晶カラーディスプレイ:19インチ以上、解像度 1280×1024 以上</p> <p>日本語対応キーボード、ホイール付光学マウス付属</p> <p>搬入、据付、調整、システム接続、試運転、操作説明、既設自動錠剤分包機の撤去処分費用を含む。</p> <p>本体の稼動に必要な付属品(標準付属品)を備えること。</p> <p>取扱説明書等の書類は和文とし、機械表記は日本語とする。</p>	
-----	--	--